

## Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

## 国試の変化

しゃっちょうは行く！



メディアセレスクール

児島 恵美子

受験シーズン真っ盛り。周りからは「今でも国家試験の夢を見る」という声をよく聞いており、皆さんにとっても薬剤師国家試験は大きなプレッシャーだったのではないのでしょうか。

2月21日、22日に第111回薬剤師国家試験が実施されます。そんな中、厚生労働省の検討部会が第115回国家試験からの大幅見直し案を了承しました。変更ポイントは、①試験科目が7科目から5科目に再編、②複合問題の制限撤廃、③問題数が345問から335問に減少、④医療薬学の足切りが変わる——の大きく4つです。

①はこれまで「物理・化学・生物」「衛生」「薬理」「薬剤」「治療」「実務」「法規」の7科目で分類されていましたが、これが「社会と薬学(法規など)」「基礎薬学(物理・化学・生物)」「医療薬学(薬理・薬剤・治療)」「衛生薬学(衛生)」「臨床薬学(実務)」の5科目に再編することです。②は科目を組み合わせて出題する複合問題でしたが、制限を撤廃することでより自由な組み合わせが可能になります。③は思考力を問う問題が増えることを考慮し、複合問題の問題数を削減。④は、今回統合される医療薬学は足して足切りではなく、薬理、薬剤、治療それぞれに30%以上の得点を必要とし、足切りは別々で計算されます。

そのため、現状よりも難しくなると予想します。1年でも早く薬剤師になれるよう、学生には頑張ってもらいたいです。